

「保育者」、「給食担当者」、「家庭」とをつなぎ、「こども」をまん中においた現場での食育の実践

認定こども園 武庫愛の園幼稚園

武庫愛の園幼稚園では、「保育者」、「給食担当者」、「家庭」の真ん中に「こども」において、各々の専門性を活かしてつなぎ取組として、こどもが食に対して意欲を持てるように「給食のおばちゃんのお手伝い」、「給食を生きた教材とした食育指導」、「親子給食」などを実践。

給食のおばちゃんのお手伝い

こどもが給食担当者の仕事（フキやスナップエンドウの筋取り、エンドウ豆の豆外し等）を経験することで食材との距離感が縮まり、人の役に立っているという自己有用感から偏食が改善。



お手伝いの様子

給食を生きた教材とした食育指導

給食を生きた教材として、配膳前の10分間にこどもに食育指導を行うことで、給食を食べてみたいという意欲が増進。

保護者対象の「親子給食」等

保護者対象に「親子給食」、「給食参観」、「お別れ給食バイキング」、「食育カウンセリング」「食育セミナー」などの機会を設けて、我が子だけでなく今の子どもたちの食の様子を知ってもらうことで、食に対する悩みや工夫など情報を共有する場に。



親子給食



配膳前の10分間の食育指導